

若手国家公務員に ホンネ聞いてみた!

vol.2

農林水産省関東農政局



遠藤さん 農村振興部水利整備課 採用3年目
栗原さん 経営・事業支援部輸出促進課 採用3年目

Q1 今の仕事内容とそのやりがいを教えて!

農家の方々に水を供給するための用水路工事などの支払いや補助金などの管理を担当しています。

実際に地方の事業所に行って、工事の目的や内容を聞くことがありますが、その際に農家の方が感謝していたという話を聞き、自分も農林水産省の一員として貢献できていると感じました😊

私は、一言でいうと輸出に関わる仕事。輸出先国のニーズに合わせた補助金の審査などを担当しています。

まだ大きな輸出に関っていないのですが、自分がやっている審査を経て、海外に日本の食が届くのを想像すると、グローバルで楽しんでいます😊

Q3 仕事をする際に心がけていることは?

「ほうれんそう(報・連・相)」の徹底ですね!それと、何か報告するときにはわからないことがあったら、すぐに聞くのではなく、まずは自分で調べることが必要だと1年目に教わりました。社会人厳しいなって(笑)。

怒られないように仕事をするを心がけています。だからこそ、何回も書類は見直し、わからない法令があったら調べて、それと一緒に出てきた関連も全部調べて…絶対に自分が悪者にならないように😊

輸出の仕事に関わるようになってから、仕事終わってから2時間くらい英語の勉強をしています!将来的にも国際関係に携わりたいなって。

ボルダリングとか自転車レースとかアクティビティが好きで、たまにやります!最近では行けないですけど、週2で同僚と飲みに行ったりしてました。

私もコロナ前は週に2、3回飲みに行ったりしていたんですけど、行けなくなっちゃったので、持て余した時間をお酒以外で何に使うか悩んでいます(。ω。)

あとは、昨年上司が家でBBQやってくれて、参加しました😊

Q4 仕事終わりや休日は何をしていますか?

Q6 コロナ禍で変わったことは?

異動して数日でテレワークになったので、教えてくれる人が周りにいないというのが毎日不安で…ずっと家になんかきやで、気分転換がなくてつらかったですね😊

元々出張が多い部署なんですけど、ほとんどなくなって、WEB会議口が多くなったんですけど、やっぱり実際に現場に行かないとわからないという声が多かったです…

WEB会議だと会話がかみ合わないこともあって、意思疎通って実際に顔を合わせないと難しいんだなって思います。

テレワークしてる方も多いので、連絡取るのも大変ですね。

Q5 国家公務員を志望した理由は?

実際国家公務員になるって最初は思っていなかったですね…

自分もどうしても国家公務員になりたいと思っていただけではなくて、

私は、職場環境の良いところを求めて公務員を目指しました。農政局の官庁訪問で、「こんなあったかい雰囲気職場ってあるんだ!」って思って、フィーリングで決めました。おしゃべりしているうちに内定もらえたって感じでした(笑)。

合同業務説明会の時に農政局だけが、「若手を大切にしています!絶対に見捨てたりしません!」と言っていて、ここなら長く続けられるかなと思ったのが、決め手です。

今は特にコロナ禍で困っている国民が多いと思うんですが、そういった方を少しでも助けてあげられる仕事が、国家公務員はできますので、ぜひ一緒に頑張ってください😊

就職先っていっぱいあるので、ぜひ全部含めて全力で悩んでほしいなって思います。その中から国家公務員を選んでいただけたら、そして一緒に仕事ができたらいいなと思っているので、無理しない程度に頑張ってください!

Q7 最後に就活生に一言

関東農政局の採用情報はこちら!
<https://www.maff.go.jp/kanto/annai/saiyou/index.html>

いい意味で賑やかな職場だと思います。1つ1つの工事への意見がすごく交わされていて、それこそ、電話の声も大きくしゃべらないと相手に聞こえないくらいで、心そう思ったところもあって、風通しがいいなって感じます!

1年を通して、ピリピリしない職場です。業務的に忙しくピリピリする時期でも、「疲れたときこそ甘いものだよ!」ってお菓子をくれたり(笑)。

若手職員も多くて、昼食を毎日一緒にいたり仲が良いと思います。この前、先輩が「鬼滅の刃」が人気で買えないって言っていたので、たまたま見つけた時に買ってあげたら、GODIVAのチョコももらいました(ぢ)。

ほんとに温かいな😊というのは採用された時から変わらないですね。

職場の雰囲気は どうですか? Q2